

Densho Bato

# でんしょ鳩



公益社団法人  
北九州市障害福祉ボランティア協会  
〒804-0067  
北九州市戸畑区汐井町1-6 ウェルとばた6階  
北九州市立東部障害者福祉会館内  
TEL 093-882-6770 FAX 882-6771  
E-mail:XLZ02133@nifty.ne.jp  
URL:http://www.ksvk.jp/  
◇郵便局振替口座/福岡 01740-4-8846  
◇福岡銀行 戸畑支店 普通口座/2130527  
公益社団法人北九州市障害福祉ボランティア協会

◇街に出て行こう!プロジェクトを終えて 2~3P

実行委員長 榎 正寿

◆生活支援技術の進歩とパソコンサポーター養成・派遣事業 4P

パソコンサポーター 音部 洋輔

◇北九州チャンピオンズカップ国際車椅子バスケットボール大会 4P

北九州チャンピオンズカップ大会事務局 高橋 勝彦

◆ボランティア物語 86 5P

『障害者スポーツ』宮崎 浩 **好評連載中!!**

◇北九州市福祉のまちづくりネットワーク 5P

リレーレポート③

毎回同じことの繰り返し

北九州市障害福祉ボランティア協会 竹田 英樹

◆MYフレンド 6P

北九州市難聴者・中途失聴者協会 理事長 神矢 徹石

◇お知らせいろいろ 7P

◆協会カレンダー 8P

北九州市障害福祉ボランティア協会

障害福祉に理解と情熱があり、明るく、企画力、機動力に優れた人材を求めます。

○人数/嘱託 若干名(平成29年4月1日より。事情によっては前後しても可)

○職種/障害福祉に関する各種事務、事業の企画・運営・推進等

○待遇/嘱託:本給14~16万円前後(通勤手当別) 賞与年2回 各種保険完備

\*年齢、経験、資格等により異なる。

○勤務時間/9時30分~17時30分までと11時30分~19時30分までの交代制

○休日/月曜から土曜のうち一日と日曜・祝日(ただし、イベント開催時には休日出勤もあり)

○勤務場所/ウェルとばた6階(戸畑区汐井町1-6)

○応募方法/履歴書と作文「応募理由」(400字以内)を事務局に提出(郵送または持参)

○応募期間/平成28年12月16日~平成29年1月16日(必着)

\*職種や勤務体系等は、面談の際に協議の上で。\*書類審査後、面接を行います。面接は追って連絡。

問い合わせ先:北九州市障害福祉ボランティア協会事務局 電話093-882-6770

**\*年末は12月28日(水)(午後5時まで)年始は1月4日(水)から\***



みんなの研修会では、①障害福祉の様々な課題を知るための勉強会、②会員同士の交流、③市民との接点を求める、④ホームページを活用しての情報提供活動を今年度の事業として取り組む提案が出された。

**第1回準備会**

12月3日(土)に開催したJ R小倉駅前での活動を最後に、今年度新たに取組んだ事業「街に出て行くプロジェクト」を無事に終えた。平成28年1月16日のみんなの研修会で「街に出て行こう!」の声があり、3月19日に準備会を開催してから延べ8回の実行委員会と、3回のイベントを開催した。実行委員会及びイベントに参加をいただいた皆様に感謝したい。

**振り返ってみよう!**

あつという間に計画を終えた。さて、目的を達成できたのか振り返ってみた。

◆ みんなの研修会では、①障害福祉の様々な課題を知るための勉強会、②会員同士の交流、③市民との接点を求める、④ホームページを活用しての情報提供活動を今年度の事業として取り組む提案が出された。

◆ 3月19日(土)ウエルとばに、当協会会員10名が集まり街に出て行くこうプロジェクトの準備会を開催した。出された意見は、

◆ ボランティアをしようと思っても、どのように参加してよいかわからない。

◆ ボランティアも、障害福祉となると、ゴミを拾うのとは違い、敷居が高い。

◆ 障害福祉にも様々な支援の仕方があることを知ってもらうことが大切。

◆ 気軽に参加できるイベントを開催したらどうか。

◆ 3月20日の西方沖地震から11年で防災について考える機会として、視覚

◆ 障害者友好協会主催で、HUGの体験学習を3月27日に行う。

◆ HUGは、避難所のH、運営のU、ゲームのGの頭文字で避難者をやさしく「抱きしめる」思いを込めて命名

◆ 避難所には、様々な人が集まるので、事前に考えることは、障害者との相互理解への機会となる。

◆ 防災は、市政でも重要な問題として検討されている。

◆ イベントのテーマを防災にして、接点をつくり、相互理解のためのゲームなどで、学習をして、交流にながれば、目的の3つとながる。

◆ くるくる(八幡東区中央町商店街)と連携してイベントを企画する方法がある。

◆ 出席者全員、防災は、学びながら、市民と接点を形成し、会員交流と3つの目的を叶えるテーマになるのではないかと、意見が一致し、「防災を通じて障害理解を深めよう!」をテーマに掲げることにした。

**第2回準備会**

4月23日の第2回準備会までの間に、記憶に新しい想定外のこと起きた。

その少し前に、北九州市が災害時障害者マニュアルを作成したことをご存知だろうか?

今年度、当協会を代表して北九州市障害者施策推進協議会委員に任命され、3月23日の会議に出席した。

昨年度、北九州市は障害者を対象にした避難対応のためのマニュアル作成に取り組み、その完成の報告があった。(皆さんも一度、ご覧になってみてください。)

さて、施策推進会議において、災害の想定について「マニュアルだけではなく訓練が大切と考える。北九州市はどのような災害を想定し

防災に取り組んでいるのか?」と質問した。回答は「北九州市では地震の確率は低いことから、主に水害を想定している。」だった。

確かに東日本大震災以後、地震発生の予知、発生確率の情報開示が進み、北九州市では地震の確率は低いとされていた。作成されたマニュアルもこれから広めていくことだった。自分もなるほどと納得した。

しかし、それから一か月も経たない4月14日に熊本・大分地震が発生。熊本は想定外の地震に襲われた。あまりにも突然で災害の怖さを痛感した。

第2回準備会にて、活動の必要性を再確認。テーマ「防災を通じて障害理解を深めよう!」年3回のイベントを計画した。

**第1回イベント**

8月6日、わっしょい百万夏まつりの「ふれあい広場」会場にて開催。



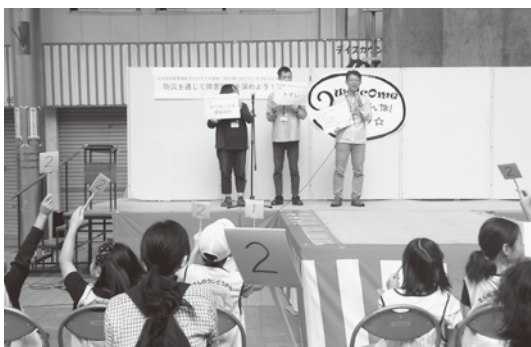
### 第2回イベント

炎天下の午後2時から4時までの開催。果たして会場に人が集まるのか心配される中、徐々にふれあひ広場の休憩テント内に人々が集まり、30名を超える方々の参加のもと開催した。防災を通じて学ぼう！どっちクイズでは、知らないことが多く、勉強になったとの声をもらった。

イベントを終えて、実行委員メンバーで飲んだビールは最高だった。今年の露店の売り上げにかなり貢献しただろう！

初めて出会う人ばかり、企画された小橋さんもどうなるか？心配されながらも、徐々に会場が二になり、子どもたちのハロウィンファッションショーで盛り上がりつつ終えた。参加した子どもたちやご家族の方々も楽しんでくれた。街に出て行こうプロジェクトは、ステージで防災を通じて学ぼう！どっちクイズと視覚障害者ガイド方法の前講座を行った。会場中央で障害者マーククイズと非常食試食コーナーを実施。非常食を試食した子どもたちからカレーが辛いとのコメント

初参加の会員さんもお誘いして、中央町商店街にあつた餃子屋さんで仕上げ。おいしいビールの堪能。お店の方から「今日は何かあったのですか？」と尋ねられたので「中央町のイベントのボランティアで参加したちょっと、商店街交流につな



があつたけど、「おいしい。おかわり！」非常食がこんなにおいしいなんてと高評価をもらった。「家に帰ってお母さん・お父さんにも教よう。」って、良い子に感謝したい。

12月3日、JR小倉駅、障害者週間啓発イベント会場にて開催。ももまるくんも参加。非常食試食と障害者マーククイズを実施。内部障害もあるのか：と、様々な障害があることをクイズを通して知ってもらえた。

### 第3回イベント

1月に開催されたみんなの研修会から始まり、12月で、おおよそ1年間の活動だったが、多くの方と出会うことができた。延べ200名を超える方々に障害者マーククイズ、災害時どっちクイズ、人にやさしい非常食試食に参加してもらった。僅かかもしれないが障害理解につながったのではないかと思う。

「街に出て行こうプロジェクト」は、会員が自主的に事業を企画し実行。まだまだ、事務局の方々に助けていただくことが多くあつたが、当初の目的を達成できたと考える。この経験を次に生かしていきたいと思う。何よりもこの活動を通じて、障害者福祉に関わる方々や会員の方々と交流できたことは、私にとってよい経験になった。皆さんに感謝です。来年はどのような企画が待っているか？楽しみだ。

最後に



(榎 正寿)

### 生活支援技術と パソコンサポーター養成・派遣事業 (以下 パンサポ)

今日の我が国の障害者施策は「障害者基本法」の改正、「障害者自立支援法」の施行などにより弱者保護から自立支援へと大きく転換してきています。

そのような中、障害者や高齢者を支援する技術は今日、目覚ましく多様化・高度化し、障害のある人が地域で豊かに暮らすために「人」の支援だけでなく、支援機器を効果的に活用するための情報、技術支援を積極的に提供することが求められています。

一例をあげると、つい数年前までは大変高価であった視線入力装置がマウスやキーボードのように手が届くものとなり、筋萎縮性側索硬化症(ALS)



S)のような進行性神経難病の方のコミュニケーション支援機器として使える環境も急速に整ってきました。依頼者にとつては、意思伝達の手段としてこの装置は欠くことのできないものであり、パンサポも積極的に関わっています。

さらに、スマートフォンやタブレットがごく一般的になってきた今、iPhoneやiPadには視力に障害のある人やタッチスクリーンが使いにくい人のための機能など、操作が困難な人のための支援機能が初めから豊富に用意されており、障害者向けの高機能のアプリも数多く公開されています。そして障害者もこれらの機器が自らの自立した生活に役立つことを知り始めています。

パンサポは、障害者の自立した生活を支援するための受け皿として、パソコンによるIT支援に加えて、パソコン以外の機器のサポートにも積極的に関わっていきたくと思っています。(音部 洋輔)

## 北九州チャンピオンズカップ国際車椅子バスケットボール大会

北九州チャンピオンズカップ大会事務局 高橋 勝彦

11月18日〜20日の3日間、北九州チャンピオンズカップ国際車椅子バスケットボール大会が北九州市立総合体育館で開催されました。

本大会は今年14年目を迎え、11回目となる『北九州市小学生車椅子バスケットボール大会』や選手による『サイン会』、選手と市民の『交流フリースロー大会』など、車椅子バスケットを通じて様々な交流を深めることができる特色のある大会です。東京オリンピックパラリンピックまで4年となり、障害者スポーツ振興の気運が高まる中、今年は大



これからの、障害者スポーツも大きな変革の時期を向かえることが予測されますが、『引き継いでいくこと』も重要であると感じております。

最後になりましたが、本大会の開催にあたり運営にご尽力いただきましたボランティアの皆様、この場をお借りし、お礼申し上げます。

広告



## SKC 会計グループ 税理士法人 SKC

税務代理業務 ・ 税務相談業務

グループ会社

〒806-0011 北九州市八幡西区紅梅二丁目9-16  
TEL. 093-645-0129 / FAX. 093-645-0070  
<http://www.skc-tax.or.jp/>

株式会社さかい経営センター 株式会社SKC計算センター  
一般社団法人 相続・贈与相談センター北九州  
(岩本英俊行政書士事務所)

宮崎浩さんは、当ボランティア協会の理事です。  
このコラムは、宮崎さんの体験を通した思いをつづったものです。

### ボランティア物語

-86-

#### 障害者スポーツ

宮崎 浩

ずっと以前、車椅子バスケットの練習に参加させてもらっていた。

しかし、車いすに座っていない、パスが取れない。投げられない。シュートしても届かない。そんな情けない場面の連続だった。

何よりも、勢いよく一気に車いすを走らせる。止める。回転する。この連続で、練習するたびに両方の手のひらの皮がべろりとむけた。

とうとう、この痛みに根を上げ、くじけてしまった。車いす競技のバスケット、マラソン、テニス等。これらの選手の手のひらはガチガチで、上腕はムキムキの筋肉の塊。残された身体機能の力を最大限に鍛えあげていく。

だから、車いす競技に限らず、全ての障害者の競技は、れっきとしたスポーツだ。

障害者スポーツの発祥は、イギリスにあるストークマン・デビル病院。

第二次世界大戦で負傷した兵士たちへのリハビリテーションにあつた。

脊椎損傷を負った人は、安静にするものでスポーツなんてとんでもないという時代に、グットマン医師の「手術よりもスポーツ」という理念で開催した競技大会は、パラリンピックへと発展していった。

「パラリンピック」のパラとは(Paralytic=下半身の不随)にオリリンピックを付けた造語から生まれた。

この愛称は、1964年の東京オリリンピックの際、日本で名付けられたという。

そして今や、様々な障害を持つ人々の祭典となり、その解釈も(Parallel=並んで行う)となった。

いわば、オリリンピックと「対等」という意味を成す。さあ、4年後は、東京パラリンピック!!

#### 北九州市福祉のまちづくりネットワーク

(リレーレポート③)

毎回の「つづきの線」返す

北九州市障害福祉ボランティア協会

竹田 英樹

平成28年度2回目の歩道点検活動を11月9日に北九州市の職員9名、「まちづくりネットワーク」から12名参加して実施しました。点検場所は、新しく建設された浅生スポーツセンター前から戸畑図書館周辺です。開始してすぐに感じたことは、歩道は新しくなっていました。以前の点字誘導ブロックが多く残っており、黒ずんで弱視の人には見えづらくなっているということでした。また、新設された浅生スポーツセンター前の歩道の点字誘導ブロックは、視覚障害者の人が遠回りをするような敷き方をされており、一緒に参加した区役所まちづくり整備課の人は、スポーツセンター側の工事関係者から敷地内の点字誘導ブロックの工事が終わった時点で、打ち合わせもなく急に歩道側の点字誘導ブロックをここから繋いでくださーい、と言われたそうです。いつも思うことですが、なぜ事前に当事者の意見を聞いてもらえないのかと思います。区役所前の公園周辺の点検では、公園のバス停に無意味な車止めがあるため、車いす使用者のためのスロープをバスから出すことができません。狭い歩道の箇所では必要のない車止めがあったり、グレーチング蓋の穴の大きいタイプがまだ使われていたり、まだまだ改善点が多い状況です。

北九州市と一緒に点検活動を始めていぶん経ちますが、点検活動では同じ改善点を毎回言わなくてはなりません。市の職員も勉強して今回は改善点がありません、と言われるような仕事をしたいと思えます。

広告

ヤマザキマザック地区代行商社 県中小企業貸与協会御用達  
ボランティア活動 倉勤会(クラカンカイ)



貴社の潤滑材

# 有限会社羽山商会

代表取締役 小川 幸一

[営業部] 〒800-0004 北九州市門司区北川町5番24-306号 TEL(093)371-0009 FAX(093)381-6679  
E-mail : koichi.o.hg@ezweb.ne.jp



―難聴者・中途失聴者協会の理事長を―

二〇〇六年北九州に帰郷し、二〇〇九年に入会。昨年四月から理事長に就任しました。

―帰郷前は―

大学入学で上京し北九州で就職した後、京都・大阪に転職して帰郷しました。今は病院のカルテ管理の仕事をしています。

―難聴協会入会のきっかけは―

京都で就活をしていた時、ハローワークの人が「聴覚言語障害センター」を紹介してくれたことがきっかけです。

―難聴になったのは―

原因は不明です。幼稚園の時、先生が親に聞こえにくいのではないかと話したようです。コミュニケーションに多少支障はありましたが、生

活に困ることはありませんでした。小学校入学時補聴器を使い始めたのですが抵抗がありました。あまり使用することはありませんでしたが、先生や友達の声を聞く時は装着しました。障害者手帳を申請したのは就活の時です。

―難聴協会の活動を教えて下さい―

まず協会の存在を知つてもらおうためのホームページやSNSでの情報発信。市の委託事業である年十六回の生活教室。内容は半分は手話教室。後の半分は、医療、防犯・防災、料理教室等生活に役立つ内容です。要約筆記の支援があります。

―課題はありますか―

会員が増えないことです。



神矢 徹石さん

難聴者・中途失聴者協会 理事長

特に、若い人は仕事と活動の両立が難しいためか少なく、高齢化が進んでいるのが現状です。実際私自身も休みの大半は協会の活動に携わっています。

―これから取り組みたいことはありますか―

とにかくまず、協会の存在を知ってもらいたいという事です。啓発活動に力を入れて、障団連の活動や各種イベントの機会等を利用して

積極的に活動していきたいと思つています。今年四月に障害者差別解消法が施行されたのを機に、協会青年部でお知らせのパンフレットを作りました。学校や職場での具体的な合理的配慮についてまとめた内容です。実際聞こえにくいことで、職場の上

司や同僚との人間関係がうまくいかない等の相談を受けることがあります。難聴者の特性や対応を関係する人に知ってもらい、難聴者の社会参加を促進したいと思つています。コミュニケーションについて、最近では家電量販店で、便利で使い勝手のいいものが手に入ります。特別ではなく一般的なものとして普及すればコミュニケーションにとっても役立つと思います。

―プライベートは―

一人暮らしです。趣味は西洋哲学書を読むこと。大学では大学でしか学べない「学問」を学びたく哲学を専攻しました。今も本は読んでいます。他には洋画のDVDを見ること。サスペンス系が好きです。ドライブも好きです。景色のいいところに出かけます。山口の角島がきれいでした。今は土日休みがなく出かけられていません。

\* \* \*

聞き手 森山 幸恵

広告

企業に永続と繁栄を……人に栄光と安心を……  
成功する企業づくりをバックアップし 幸福な人生の設計をサポートします。

TKC全国会会員



古川税理士事務所

所長・税理士 古川直樹

(事務所) 〒806-0032 北九州市八幡西区筒井町12番21号 電話(093)631-8555 FAX(093)631-8557

✉ furukawa-naoki@tkcnf.or.jp http://www.furukawa-tax.com

### 北九州市 障害者パソコンサポーター 養成講座

(北九州市障害者パソコンサポーター派遣事業)

日時/平成29年2月2日(木)~3月4日(土)

概ね毎週木・土曜日

内容/障害者へのIT支援をするサポーターを養成します。

会場/ウエルとばた6階

北九州市立東部障害者福祉会館 研修室6C

費用/資料代・材料代として2,000円程度

申込期間/平成29年1月4日(水)~1月25日(水)

※1月28日(土)午前10時からの説明会兼選考会に必ず出席してください。

### 平成28年度 みんなの研修会

~街でプロジェクトを体験しよう!そして  
29年度の取り組みを話し合おう!~

日時/平成29年2月4日(土) 14時~16時

会場/ウエルとばた6階

北九州市立東部障害者福祉会館

研修室6A・B

テーマ/1部 街に出て行こう!プロジェクトを体験しよう!

2部 29年度の取り組みを話し合おう

参加費/100円(お菓子代、飲み物含む)

参加締切/平成29年1月27日(金)

お知らせ  
いろいろ

すべてのお申込み・お問合せ先は、

北九州市障害福祉ボランティア協会 まで

電話:093-882-6770 メール:XLZ02133@nifty.ne.jp

### 障害者差別解消法推進事業 講演会

日時/平成29年2月3日(金) 18時~

会場/北九州市立商工貿易会館2F多目的ホール

内容/【基調講演】講演者 野沢 和弘

略歴 毎日新聞論説員、内閣府障害者  
施策委員会委員、千葉県障害者  
差別をなくすための研究会座長

主催/北九州市

### 平成28年度 視覚障害者の ガイドボランティア入門講座

ガイドボランティアサークル「ゆう・あい」共催

はじめてみよう!

### 障害福祉ボランティア活動

日時/平成29年1月29日(日) 10時~16時30分

会場/北九州市立西部障害者福祉会館

(コムシティ5階) 501~503研修室

対象/18歳以上の方で視覚障害福祉に関心のある方

定員/30人(先着)

受講費/1000円(資料代、弁当代)

参加締切/平成29年1月20日(金)

### 障団連 第3回全体会

日時/平成29年1月22日(日) 14時~

内容/災害時の支援について

会場/ウエルとばた6階

北九州市立東部障害者福祉会館 研修室6AB

広告



株式会社花田

- 建築工事
- 土木工事
- 解体工事
- 産業廃棄物収集運搬
- 引越し作業
- 運送運搬作業
- 遺品整理
- その他作業全般

株式会社 花田

〒804-0031

北九州市戸畑区東大谷2-10-4

TEL:093-881-8133 FAX093-881-8139

ご協力・ご提供ありがとうございました。(敬称略)

○ご寄付(公益社団法人への寄付は、寄付控除の対象となります)

佐野 哉夫 恒成美津江

○使用済み切手・テレカ・ハガキなど

岩瀬 恵子 牛島実基子 小笠原ヒデ子 公文真理亜

下田 猛 中村 幸子 三原 みき

生き方のデザイン研究所 大平メディカルケア病院

小倉ロータリークラブ SKC会計グループ

北九州市点訳音訳ボランティア連絡協議会点訳部

曽根市民センター 西鉄イン黒崎

福岡県保護観察所北九州支部 明治学園中等部

八幡西区役所保護課

○バザー品

古賀 由美子 高橋 朱美 高橋 良彰

☆収集品・ご協力のお願い☆

この時期は年末に向けて、そろそろ皆さまも年賀状の準備をされていることと思います。

万が一、書き損じなど出ましたら、ボラ協で活用させていただきます。

手数料を払えば、郵便局でハガキや切手と交換することができます。ボラ協では通信費削減のため収集しています。

ご協力をお願いします。



※今年も一年間ボラ協を支えてくださり、ありがとうございました。よいお年をお迎えください。

協会カレンダー

12月

3日(土) 障団連・障害者週間 街頭啓発キャンペーン

4日(日) 街に出て行こうプロジェクト「地域出前交流事業③」

7日(水) 第19回北九州市手話フェスティバル(後援事業)

夢の福祉ロボットアイデアコンテスト作品選定委員会

障団連 移動支援事業説明会に参加

10日(土) 小倉南区社会福祉協議会ボランティア講座(竹田)

11日(日) 全国ふうせんバレーボール大会(後援事業)

12日(月) 中間支援組織連絡会コーディネーター研修

13日(火) 北九州市障害者施策推進協議会(複)

14日(水) 障害者差別解消支援地域協議会

15日(木) 会報第208号発行

18日(日) 障害児の長期休暇対策事業「ウィンタースクール」

22日(木) 障害福祉団体連絡協議会常任委員会

28日(水) 仕事納め

1月

4日(水) 仕事始め

11日(水) 常任委員会

12日(木) 障害者余暇支援者連絡会

25日(水) 北九州市福祉のまちづくりネットワーク定例会

26日(木) 障害福祉団体連絡協議会常任委員会

28日(土) 第14回障害者パソコンサポーター養成講座説明会

29日(日) 視覚障害者の外出支援ボランティア入門講座

(西部障害者福祉協会「ゆう・あい」共催事業)

2月

2日(木) 第14回障害者パソコンサポーター養成講座開講式(全9回)

3日(金) 差別解消法講演会に参加

4日(土) みんなの研修会

15日(水) 会報第209号発行

